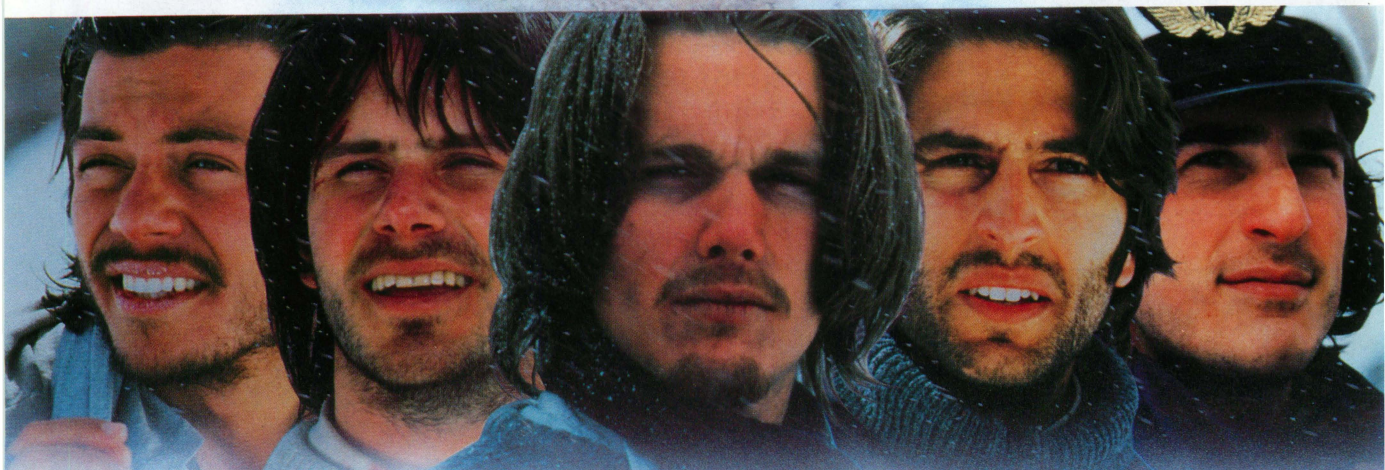


その時、僕たちは神を感じた...

誰もが涙したこの真実のドラマに—



〈カリス・バエツ〉
ブルース・ラムゼイ

〈ロベルト・カネッサ〉
ジョッシュ・ハミルトン

〈ナンド・バラド〉
イーサン・ホーク

〈アントニオ・バルビ〉
ヴァインセント・スパーノ

〈ガスタボ・セルピノ〉
デビッド・クリーゲル

生きてこそ

ALIVE



パラマウント映画 and タッチストーン・ピクチャーズ提供/ケネディ・マーシャル・プロダクション
フランク・マーシャル作品「ALIVE」/イーサン・ホーク/ヴァインセント・スパーノ/ジョッシュ・ハミルトン/音楽:ジェームズ・ニュートン・ハワード/編集:マイケル・カーン/プロダクション・デザイナー:ノーマン・レイノルズ/撮影:ピーター・ジェームズ
原作:ピアズ・ホール・リード(原作邦訳:新潮文庫刊「生存者/アンデス山中の70日」)/製作:ロバート・ワッツ and キヤスリーン・ケネディ
脚色:ジョン・トリック・シャンレー/監督:フランク・マーシャル

CC BY NC ND UIP 配給 / パラマウント映画

TM & COPYRIGHT ©1993 PARAMOUNT PICTURES CORPORATION and TOUCHSTONE PICTURES



1972年10月—— 厳寒のアンデス山中に墜落、消息を絶った45名。

恐れを克服し、躊躇を捨て、彼らはただ生き残ることだけを考えた……。これは、峻厳な事実のみがもたらす感動の物語である。

1972年10月13日の午後、南米ウルグアイの学生ラグビー・チームら45名を乗せた旅客機が、アンデス山脈上空で、突然、消息を絶った。墜落機も乗客の安否も確認されないまま、まもなく捜索は打ち切りに……。しかし、その時、雪に覆われた人跡未踏の山中では、まだ27名もの生存者たちが救助を待ち望んでいた。高度3,450メートル、零下40度。酷寒と飢餓、恐怖と疲労。次々に襲い来る大自然の猛威に、勇気と知恵と団結で立ち向かったチーム・メイトたち。その間には、後に様々な物議を呼ぶことにもなる、ある“選択”を迫られた瞬間もあった。やがて、力つきて死に行く者、雪崩の犠牲になる者が続出。このまま雪どけの春を待っていたら、一人として生きて故郷の土を踏める者はいなくなるに違いない。こうして、死が、誰にも免れない現実となって目前に迫った時、彼らは過酷な大自然を相手に、勝ち目のない闘いに挑む……。事故から実に72日。この苦境を乗り越え、無事生還した16人の若者たちの凄まじい精神力に、世界中が喝采を送った。この出来ごとを、当時、人は“アンデスの奇跡”と呼んだ。



(キャスト)

ナンド……イーサン・ホーク
 アントニオ……ヴィンセント・スパノ
 ロベルト……ジョッシュ・ハミルトン



(CAST)

Nando……ETHAN HAWKE
 Antonio……VINCENT SPANO
 Roberto……JOSH HAMILTON



(スタッフ)

監督……フランク・マーシャル
 脚色……ジョン・パトリック・シャンレー
 製作……ロバート・ワッツ
 キャスリーン・ケネディ
 原作……ピアス・ポール・リード



(STAFF)

Directed by……FRANK MARSHALL
 Screenplay by……JOHN PATRICK SHANLEY
 Produced by……ROBERT WATTS
 and KATHLEEN KENNEDY
 From the Book by……PIERS PAUL READ

生きてこそ ALIVE

あれから20年余り。ここに、彼らの“奇跡”が再現された。今回、メガホンをとったフランク・マーシャルは、現在、すでに40歳を過ぎたこの事故の生存者たちと会い、「彼らが味わった精神的、肉体的苦闘を如何に伝えるか、その責任の重みを感じた」と言う。スピルバーグ一家の名プロデューサーとして、『インディ・ジョーンズ』シリーズや『E.T.』『フック』などを手がけ、90年、『アラクノフォビア』で監督デビュー。これまで幻想の世界に身を置いてきたマーシャルが、今回は、過酷な現実の出来ごとに目を向けた。極限状況下に置かれた人間たちが、生きのびるためにたどった苦しい経路。それを見事に描き出し、現実が幻想以上の感動を生むことを立証してみせた。

この飛行機の乗客の多くは、当時、20歳前後の大学生。したがって、キャストも「いまを生きる」のイーサン・ホーク、「私の中のもうひとりの私」のジョッシュ・ハミルトン、「グッドモーニング・バビロン！」のヴィンセント・スパノ等若手のフレッシュ・スターが顔を揃えた。



UIP配給/パラマウント映画

近日ロードショー!

特別鑑賞券(一般) ¥1400 / 学生 ¥1200 / ベア券 ¥2600 発売中

有楽町・東宝映画街

日比谷映画

03
 (3591)
 5353